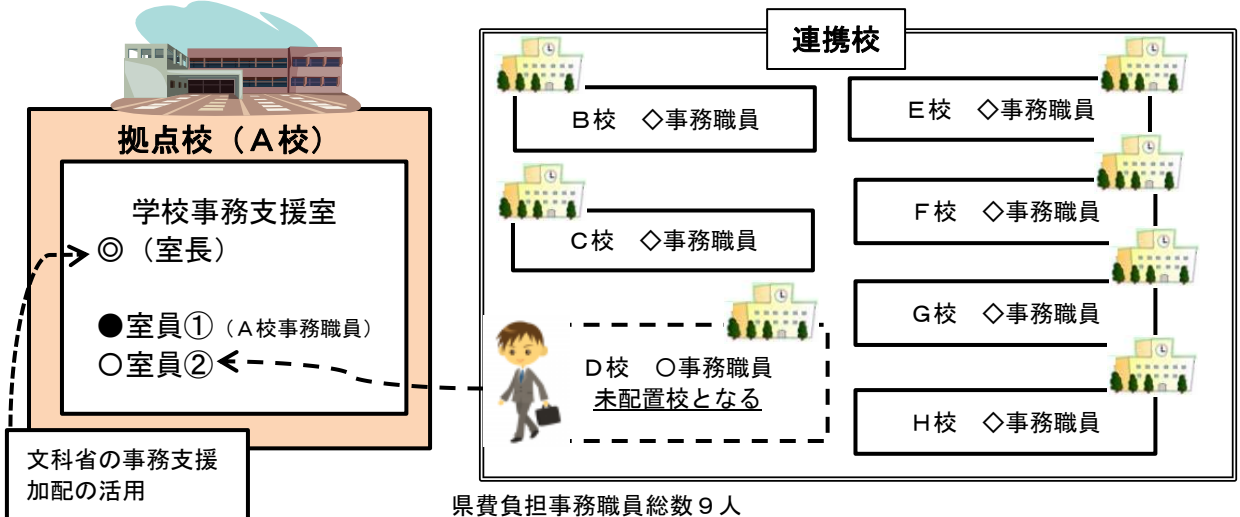


■ 共同実施支援室のモデルケース

職員常駐型

- ・ 拠点校には、室長（事務長又は総括主任）、室員①（拠点校の事務職員）、室員②（連携校（※例ではD校）の事務職員）を配置し、拠点校（A校）の在籍とします。
- ・ 連携校の事務職員は、各校の在籍で日常は各校で業務に従事します。

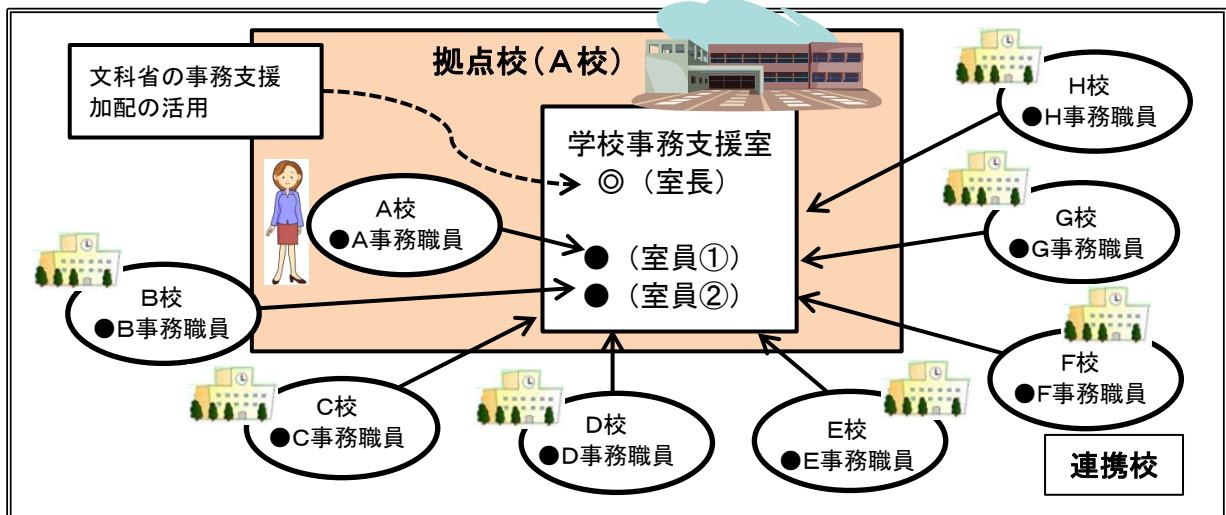


県費負担事務職員総数 9 人

※ A 校事務職員の勤務体制については、支援室により異なる

ローテーション型

- ・ 拠点校には、室長（事務長又は総括主任）を配置します。
- ・ 室員①、②は、拠点校及び連携校の事務職員が、ローテーションを組み、支援室に定期的（週 1 日もしくは半日）に勤務します。
- ・ 拠点校及び連携校の事務職員は、支援室で勤務する以外の日、所属校で業務に従事します。



※室長以外の事務職員は、勤務ローテーションにより、支援室で勤務

(例) 県費負担事務職員総数 9 人として

曜日	月	火	水	木	金
室員①	A	C		E	G
室員②	B	D		F	H

支援室の経営計画に則り、連携校への支援業務や事務職員の全体研修、相互確認等を行う